

1. 9/17 第 10 回講演会について

1) 事務面、ロジ面については問題なし

2) 第二部座談会について ⇒ 石川、飯田、栗原+参加可能なリーダーで別途事前打合せ実施 (栗原さんが日程調整)

<視点>

座談会登壇者(飯田さん、栗原さん)の立ち位置

- ・地域連携(活性化)の立場 万博×地域活性化、河瀬先生×万博を通じた地域活性化
- ・夢洲機構会員企業の代表としての立場、企業団の代表、プロデューサーと夢洲機構が何ができるかを考える立場

議論のポイント

- ・会員企業の代表として聞きにくいことを聞いてもらったらいいのではないか
- ・30年後、50年後を見据えて、どうやって一緒になって多様な未来を作っていくのかを考える場(=万博)ということ視聴者に理解してもらえようにする
- ・共催イベントなどのソフトな関わり方もあるか
- ・継続的な議論のプラットフォームが夢洲機構であるという認識をもってもらおう(特に河瀬先生)
- ・現状のお悩み、課題(共同開発していく領域)を聞き出したい⇒例: どういう場でアバターがあればいいのか
- ・河瀬先生は夢洲機構としても初めて、五輪もあり準備が遅れている、河瀬先生にしっかりとスポットをあてるべき
- ・日経ビジネスに石黒先生の記事が出ている、目を通しておくべし
- ・河瀬先生は五輪で相当に忙しかったはず、五輪の経験から得られるもの
- ・石黒先生はパビリオンで「ご神体」すなわち1万年後の人間というもの、これを作ろうとしており、いろんな知恵を入れて考えていきたいと考えている
- ・オリパラ自治体連合があった⇒府下自治体会合ともつなげることはできないか

2. 10/14 大学 EXPO ⇒ 順調に準備中

3. 10/11 自治体 EXPO ⇒ 順調に準備中

4. Road to 2025

- ・滋慶学園さん以降、登録がなくまたそもそも全体として数が少ない
- ・部会でニュアンスを含めてしつつこく継続的に説明する
- ・東大阪市の独自 SDGs ロゴマークを制定、こういう取り組みも自治体向けに発信
- ・Road to 2025 ニュースみたいなものを会員向けに配信できないか(橋本さんに検討してもらおう)

5. 若手会活動

- ・Slack を作って、まずは自己紹介からと案内しているが、自己紹介のページをあまり作ってくれていない
- ・24 名が参加意向ありで、Slack 参加は 12 名
- ・やや停滞気味であるが、活動を活発化させて全体にも再度周知

6. 部会活動の共有

第1部会 スポーツWGが活発に議論しているが、岐路にきている

第2部会 メンバー企業も増えてお互いのことがわからないという悩みあり
企業紹介、どの程度やるべきか（全体マター）

第3部会 部会活動もコロナの中で滞りがち、iino 試乗会、コモンランド見学会
謝礼を渡す講演会も企画

第4部会 リアルが出来ない中で苦勞している、5WGの差があったので3つを統合して5
⇒3にした

リアルが無理でも話を聞くことは出来るので、こどもをテーマにしたJRIの
研究員もいるので話してもらおう

第5部会 花園、泉州一体での取り組みをWG活動として進めていく
昨年行った現地ツアーを再開したい、有志数名+オンラインツアーも企画
色々な会社に引き出しはいっぱいあると思っている

<会員交流会の場>

ディスカッションの末、11月初にオンライン会員交流会を実施（事務局から日程候補を出して決める）

3ヶ月に1度くらいのペース

ロング（15～20分）+ショート（5分程度）のワクを確保、気楽な感じの自慢大会で良し。
リーダーは部会活動の中で共有された面白い取り組みがあれば、手を引っ張って（背中を押して）誘導してあげる

7. その他

- ・その他、11～12月 福岡プロデューサーのセミナーやる（井垣さんより）
- ・9/20期限 理事会の説明原稿作成のこと（部会、Road to 2025、WEBサイト、それぞれ）、理事会は10/1日開催。

以上